

リスク評価（一次）評価Ⅰ結果・対応について

平成23年4月1日及び平成24年3月22日に指定された優先評価化学物質のうち81物質について、製造・輸入数量の全国合計値が10t超の79物質を対象に、平成23年度実績の詳細用途別出荷量等を用いて、リスク評価Ⅰを実施した。

優先評価化学物質

79物質

※平成23年度までに指定された物質のうち一定の要件を満たすもの

リスク評価
(一次)
評価Ⅰ

リスク評価
(一次) 評価Ⅰ

8物質

※平成23年度実績のデータから、詳細な評価を進める必要があると考えられるリスク懸念が認められ、評価の優先順位が高いとみなせるもの。

＜人健康影響＞

一般毒性(又は生殖発生毒性)、発がん性、変異原性のリスク懸念の可能性がいずれも高い物質。

＜生態影響＞

排出源ごとの暴露シナリオにおいて、リスク懸念の箇所数が多い物質。

すみやかに
リスク評価
(一次)
評価Ⅱに着手

62物質

※平成23年度実績のデータでは詳細な評価を進めるほどのリスク懸念が認められなかったもの。

6物質（年間推計排出量1t以下）

平成24年度実績のデータを収集して再評価（評価Ⅰ再実施）

リスク評価
(一次) 評価Ⅱ

8物質

＜人健康影響(1物質)＞
○N, N-ジメチルホルムアミド

＜生態影響(7物質)＞

○ヒドラジン

○プロモメタン

(別名臭化メチル)

○1, 2, 4-トリメチルベンゼン

○ナフタレン

○ α -（ノニルフェニル）- ω -ヒドロキシポリ（オキシエチレン）（別名ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル）

○過酸化水素

○アクリル酸

★今後すみやかに着手

18物質

★平成24年度から実施中

(注) 人健康影響と生態影響はそれぞれ別々に評価を行うため、一部重複がある。